

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書 24 章 36～49 節＞

ルカは何を伝えたいのかを考えながら読むと分かって来る箇所！

1 (36-43) 弟子たちが思ったことに対して復活の主が示されたこと。

弟子たちは、主イエスが突然「**彼らの真ん中に立たれた**」(36)ことに驚いたのです。それで彼らは自分の理解で受け入れられるべく、現れられた主を肉体を持たない霊的存在と考えたのです（「**亡霊**」(37)の原語は、聖書では普通「**霊**」と訳されている語）。その後主イエスが色々されたことをルカが記していますが、それは全て、主が生前と同じく、肉なる体を持っていること、霊だけの存在ではないことを弟子たちに分かってほしかったからです。しかし、生前と全く同じ肉体でもありません。突然現れられ、突然見えなくなられる「**新しい体**」です（I コリント 15:35-49 で、パウロがまさにこの線で考えている！）。私たちの復活が聖書からどのように知れるかは、これらの箇所から考えられ、ここまでに置いておくべきものなのです。

2 (44-49) 心の目が開かれて見えるようになるものは？

ルカは、先週の箇所(13-35)で伝えようとした一番大事なことを今日の箇所ですべて同じように記しています。すなわち、イエス様の死と復活は旧約聖書全体で予告されており、神様がなされたことで不思議では全くないと(44-46, 25-27)。

しかし、今日の箇所では、さらにもう一つ、その先の恵みの内容が記されています、「**罪の赦しを得させる悔い改めが、その(彼の＝イエス・キリストの)名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる**」(47)。　（「**罪(ハマルティア)**」： 矢を射るが的を外れていること、つまり、私たちが神様の方を向いて生きていなかったこと。「**悔い改め(メタノイア)**」： **方向転換すること**、つまり、神様の方を向いて生きるようになること）。イエス様は、ご自分の死と復活によってもたらされた「**真の神様に向き直して生きる生き方**」を全ての人に宣べ伝えよ、と命じられたのです。

イエス様の出来事が起こる前と後とで、世界は一つ大きく変わりました。神様がなして下さる「**救いの予告**」を人間が聞き続けた時代から、その「**救いの成就**」を人間が宣べ伝える時代に入ったのです。このことが理解でき、受け入れるなら、私たちの心の目も開かれたのです(45)！